

2024 年 5 月 9 日

お問い合わせ先:
CBRE
マーケティング & コミュニケーション
03-5288-9283

CBRE、ロジスティードが保有する国内物流施設 32 物件の売却をサポート

～ロジスティードの資産価値最大化とアセット・ライト戦略の推進に貢献～

CBRE（日本本社：東京都千代田区丸の内）はこのほど、総合物流企業ロジスティード株式会社（旧日立物流、以下 ロジスティード）が保有する国内物流施設 32 物件について、売却の全面的なサポートを行いました。

CBRE は、2023 年中旬にロジスティードから保有不動産に関するアドバイザリーの依頼を受け、アセット・ライト推進のための資産流動化のプランを含む戦略を策定しました。この戦略に基づき、CBRE の金融サービス部門である [インベストメントバンキング](#) が主導し、売買仲介部門や物流施設のリーシング部門と連携し、ロジスティードが保有する国内物流施設 32 物件のセール&リースバック（S&LB）を活用した取引を実施しました。その結果、32 物件のうち大型 4 物件を不動産会社であるヒューリック株式会社及び米投資ファンド KKR 系の上場不動産投資信託（J-REIT）である産業ファンド投資法人などが出資する私募ファンドに売却し、その他の 28 物件を産業ファンド投資法人へ売却しました。売却金額の総額は 2,100 億円超に及びました。さらに、CBRE は売却サポートした 20 物件のプロパティマネジメント業務も受託し、2024 年 3 月から業務を開始しています。

本プロジェクトにおいて、CBRE は戦略構築段階から売却実行まで一貫して対応し、ロジスティードが保有するポートフォリオの資産価値最大化を通じて、同社のアセット・ライト戦略の推進に貢献しました。

CBRE 代表取締役社長 兼 COO である辻 貴史は、「当社の高度な専門性と多彩な提案力をご評価いただき、本プロジェクトに携われたことを大変嬉しく思います。東証の PBR1 倍割れ是正要請を受け、企業価値向上に向けた資産見直しの活発化により、事業会社からの不動産戦略の再構築に関するご相談が急速に増加しています。企業の資産効率化と収益性向上を目的とした事業用不動産の取引がさらに拡大していくことが予想されます。CBRE では、今後も魅力的かつ戦略的な不動産取引機会の創出を通じ、企業の事業拡大と価値向上のサポートに努めてまいります」と述べています。

■本取引に関するお問合せ先

シービーアールイー株式会社（CBRE）
インベストメントバンキング部門 アソシエイトディレクター 遠藤 俊二郎
Shunjiro.Endo@cbre.com TEL 080 7249 0379

CBRE 日本法人について

CBRE 日本法人（シービーアールイー株式会社）は、不動産賃貸・売買仲介サービスにとどまらず、各種アドバイザー機能やプロパティマネジメント、不動産鑑定評価などの 17 の幅広いサービスラインを全国規模で展開する法人向け不動産のトータル・ソリューション・プロバイダーです。CBRE の前身となった生駒商事が 1970 年に設立されて以来、半世紀以上にわたり、日本における不動産の専門家として、全国 9 拠点で地域に根ざしたサービスを展開してきました。企業にとって必要不可欠な「ビジネスインフラ」として認められる不動産アドバイザー&サービス企業を目指して、国内約 1,400 名*のプロフェッショナル（*子会社を含む）が、最適かつ的確な不動産ソリューションを中立的な立場で提供いたします。詳細につきましては日本国内ホームページ www.cbre.co.jp をご覧ください。公式 Twitter アカウント：[@cbrejapan](https://twitter.com/cbrejapan)

CBRE グループについて

CBRE グループ（NYSE：CBRE）は、「フォーチュン 500」や「S&P 500」にランクされ、ダラスを本拠とする世界最大の事業用不動産サービスおよび投資顧問会社です（2023 年の売上ベース）。全世界で 130,000 人以上の従業員（ターナー & タウンゼントの従業員を含む）が、100 カ国以上でクライアントに対し、幅広いサービスを提供しています。不動産売買・賃貸借の取引業務、プロパティマネジメント、ファシリティマネジメント、プロジェクトマネジメント、事業用不動産ローン、不動産鑑定評価、不動産開発サービス、不動産投資マネジメント、戦略的コンサルティングを主要業務としています。